



キャリア教育について

鴨川中学校の4名の2年生が職場体験活動で、本校を訪れています。地域の商店や事業所に分かれて職業体験をするのは、大変よいことだと思います。これらの活動は、キャリア教育と言われるもので、小学校でも行っています。

キャリア教育とは、右に示されていることで、10年以上前から取り組まれています。一言で言えば、職業観や勤労観を育む教育です。ただ、最近ではそれだけではなく、自分の生き方そのもの、つまり、人生観に関わる教育になりつつあります。子どもたちが、「キャリアパスポート（特別活動や教科等で行ったキャリア教育に関する活動の記録）」を持っているのも、キャリア教育の一環です。

では、小学校では、具体的にどのようなことをしているのでしょうか。各学期に自分の目標を立てたり、それを振り返ったりすることも大事なキャリア教育です。生活科で校区の商店や公民館などの施設を訪ねること、社会科で各産業について学ぶことも同様です。9月10日には、6年生が、外部講師を招いて、職業に関する学習を行います。このように小学校においてもキャリア教育を実施しています。

社会の変化が激しいので、10年先、20年先の具体的な職業のイメージが描きにくくなってきているかもしれません。それでも、大人になったらこんなことをしてみたい、という夢や希望をもって学んでほしいと思います。

1週間、元気に過ごしました！

2学期が始まって1週間が経ちました。残暑ではなく、猛暑が続いていますが、子どもたちは、元気に活動に取り組んでいます。1学期と同じような学校生活のリズムを取り戻した感じがします。家庭での基本的な

生活習慣の定着が、学校生活の基盤になっていることを考えると、保護者の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

学期始めの身体計測を行い、体の成長を子どもたちは自覚しています。よりよい心身の成長のためにも、今後とも学校教育へのご理解、ご協力をお願いいたします。

